

メッセージ題「十字架上の叫び」 <先週の講壇より>

「三時ごろ、イエスは大声で、『エリ、エリ、レマ、サバクタニ。』と叫ばれた。これは、『わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。』という意味である。」マタイ 27:46 【新改訳】

南カリフォルニアの日本ガーデンなどにある桜の木々が、次々に枯れているそうです。桜の木は本来は四季がある日本において咲くもので、比較的一年中温暖かつ砂漠地帯である南カリフォルニアには適していないのだそうです。それでも一世や二世の方々も日本を思い、この地域に植え、手入れをして、毎年きれいな花を咲かせてきました。ところがその二世の方々も終わり、今は誰も手入れの仕方も分からず、そのままになってきていました。ですからこの同じ時期に、次々と枯れていっているのだと、そのようにローカルニュースで報道していました。実は悲しいことに、私たちの教会の桜の木も、とうとう枯れてしまいました。

桜の木が南カリフォルニアには適さない、本来はここでは花を咲かせる木ではないように、私たち人間の存在も本来でしたら神様の国にはふさわしくありません。入るべきではない、入ってはいけない存在のはずです。でもイエス様の十字架ゆえに、救われました。見捨てられて当たり前私の身代わりとして、イエス様は悲しみの叫びを叫んでくださったのです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022 年 3 月 27 日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ 29 : 11

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

